

新型コロナウイルス感染症対策に係るガイドライン

長野県高等学校野球連盟
軟式部会

このガイドラインは、長野県教育委員会の「新型コロナウイルス感染症対策に係る県立学校運営ガイドライン」と日本高等学校野球連盟の「第66回全国高等学校軟式野球選手権地方大会新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を基本とし、さらに「NPB新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」等を参考にして、長野県高等学校野球連盟が主催する大会を開催するための必要事項を整備したものである。

I 野球部員、責任教師、監督、顧問、役員、審判員、記録員、報道関係者等の感染症対策

1 日常における基本的な感染症対策

- (1) 家庭と連携した朝晩の検温及び風邪症状の確認。(同居家族、同居寮生の体調確認等を含む。)
※特に大会2週間前から、健康チェックシートによる体調確認を徹底する。
- (2) 公共交通機関を利用する場合は、マスクを着用するとともに、他の乗客との身体的距離を保ち、会話は控えるなどの乗車マナーを徹底する。
- (3) 野球部員に発熱等の風邪の症状が見られる時は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養するよう指導する。
- (4) こまめな手指消毒・手洗いの励行。
※練習中及び試合前、中、後における手指消毒の励行。(練習場所等には常時手指消毒剤を準備しておく。)
- (5) マスクの着用。
- (6) 身体的距離の確保。
※飲食は対面を避け、距離を置く。また、食事中の会話は控える。
- (7) 部活動で使用する用具等については、使用前後に消毒を行うとともに、部員間で不必要に使い回しはしない。特に、飲料用ボトルの共用はしない。
- (8) 部室や更衣室等の利用に当たっては、少人数で短時間の利用とし、「3つの密」を避けることに留意する。更衣後は、ドアを開放して換気する。
- (9) 部活動終了後に、生徒同士で食事をすることは控える。
- (10) 練習場所等における人の接触する機会が多い箇所は、こまめに消毒を行う。
- (11) ユニフォームなどの洗濯や、道具の手入れ、消毒をこまめに行う。

2 大会運営に係る感染症対策

- (1) 試合日のチームの責任教師・監督・部員(スタンドを含む球場入りする者全て)の感染症対策
 - ① 朝各自で検温を行い、その結果を「検温確認表」に記入する。責任教師は球場入りしたときに、「検温確認表」を大会本部に提出する。
 - ② 朝の検温の結果、体温が37.5℃以上の者は来場しない。また、発熱・咳・咽頭痛・倦怠感等がある者も同様とする。
 - ③ 球場入場時に検温を行う。
 - ④ 球場入場時から退場時まで、基本的にマスクを着用する。
※特にオーダー交換時、マスコミの取材時は必ずマスクを着用する。
※試合開始前の練習から、マスクをはずしてもよい。
※ベンチ内ではゲームに出ていない場合は、マスクを着用する。気温・湿度が高い場合には、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるため、適宜マスクを外すなど、熱中症への対応を優先する。
 - ⑤ 食事は指定された場所で、対面をさけ、距離を置いてとる。また、食事中の会話は控える。
 - ⑥ 次試合チームの控え場所(責任教師・監督・ノッカー含む)は、大会本部が指定するスタンドの一部とする。
 - ⑦ 次試合チームは、前試合チームがベンチから退き、ベンチ内の消毒作業が済んでからベンチ入りする。
 - ⑧ バス等での移動時にはこまめに換気を行い、また、適度に休憩をとることで、空間遮断による

濃厚接触を回避する。

⑨ バス等での移動中もマスクを常時着用し、出発ならびに到着時に手指衛生を行う。

(2) 試合運営における感染症対策

- ① 試合開始・終了時の挨拶は、少し間隔を空けて整列をし、また発声をしない。主審の声に合わせて礼をするのみとする。
- ② ベンチ内ではできるだけ選手同士の間隔をとり、可能な限り接触を避ける。
- ③ 試合中、ベンチのドアは閉めず、開放しておく。
- ④ 試合中、円陣や素手でのハイタッチ・握手などは避ける。
- ⑤ マウンド上に集合するときは、グラブを口に当てることとする。伝令（選手交代も含む）はマスクを着用するか、グラブを持っていき口に当てることとする。
- ⑥ 熱中症対策、感染予防のため、積極的に水分補給を行う。水分補給を行う際は、各自のペットボトルなどを用意して、飲み回しなどの行為を行わない。
- ⑦ 試合後、勝利校の校旗掲揚・校歌演奏を行うが、勝利校は少し間隔を空けて整列をして演奏を聞く。なお、校歌の斉唱は行わない。
- ⑧ 試合後、前試合チームは片付けとともに、ベンチ内の消毒作業を行う。
- ⑨ 試合後、取材を受ける際は大会本部が指定した場所で行う。その際、密にならないように注意する。

(3) 役員、審判員、記録員、球場補助部員等の感染症対策

- ① 朝各自で検温を行い、その結果を「検温確認表」に記入するとともに、大会本部に報告する。
- ② 朝の検温の結果、体温が37.5℃以上の者は来場しない。また、発熱・咳・咽頭痛・倦怠感等がある者も同様とする。
- ③ 球場入場時に検温を行う。
- ④ 球場入場時から退場時まで、基本的にマスクを着用する。気温・湿度が高い場合には、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるため、適宜マスクを外すなど、熱中症への対応を優先する。
※試合を担当する審判員のうち、球審は試合中、マスク着用かマスクシールドを使用することとする。なお、塁審のマスク着用は義務付けない。
- ⑤ 本部室、放送室、記録室、審判員室等、球場内の各室においては、常時ドアを開けて換気を行う。また、座席間の距離を取り、身体的距離を確保する。
- ⑥ 食事は指定された場所で、対面をさけ、距離を置いてとる。また、食事時の会話は控える。
- ⑦ 熱中症対策、感染予防のため、積極的に水分補給を行う。水分補給を行う際は、各自のペットボトルなどを用意して、飲み回しなどの行為を行わない。

(4) メディア関係者の感染症対策

- ① 球場での取材要員数は必要最小限にとどめる。
- ② 朝各自で検温を行う。朝の検温の結果、体温が37.5℃以上の者は来場しない。また、発熱・咳・咽頭痛・倦怠感等がある者も同様とする。
- ③ 球場入場時に受付・検温を行う。
- ④ 球場入場時から退場時まで、基本的にマスクを着用する。気温・湿度が高い場合には、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるため、適宜マスクを外すなど、熱中症への対応を優先する。
- ⑤ メディア関係者室においては、常時ドアを開けて換気を行う。また、座席間の距離を取り、身体的距離を確保する。
- ⑥ 食事は指定された場所で、対面をさけ、距離を置いてとる。また、食事時の会話は控える。
- ⑦ 熱中症対策、感染予防のため、積極的に水分補給を行う。水分補給を行う際は、各自のペットボトルなどを用意して、飲み回しなどの行為を行わない。
- ⑧ スタンドでの分散取材、球場内の移動は必要最小限にとどめる。
- ⑨ 取材は3つの密を避けて行う。特に選手らチーム関係者への取材は距離を置いて実施し、短時間で行う。
- ⑩ 保護者らスタンド席の観客への取材はできるだけ控える。

3 大会参加に係る注意事項

- (1) 大会参加については、部員本人と保護者の意向を尊重し、参加の強制とならないよう十分に配慮する。

- (2) 部員及び責任教師、監督、顧問が感染者となった場合は、療養期間の大会参加を禁止する。なお完治後の大会参加にあたっては、必ず主治医または保健所の指示を受ける。
- (3) 部員及び責任教師、監督、顧問が濃厚接触者となった場合は、指定された外出自粛期間の大会参加を禁止する。
- (4) 部員及び責任教師、監督、顧問が接触者等の理由でPCR検査を受けることになった場合は、検査結果が出るまでの期間の大会参加を禁止する。
- (5) 感染状況等により学校が臨時休業となった場合は、臨時休業期間中の大会参加を禁止する。
- (6) なお、学校が臨時休業となった場合、大会日程を繰り下げることで当該校の大会出場が可能な場合は運営委員会で検討することもある。その場合、同一回戦の日程内で日程変更を検討することを原則とする。
- (7) 部員及び責任教師、監督、顧問が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに長野県高等学校野球連盟事務局まで連絡する。

II 観客の感染症対策

1 観客の上限人数

- (1) 第114回長野県高等学校軟式野球大会において、スタンドに入場出来るのは、野球部員の他、学校長が認める学校関係者とする。

2 入場制限について

- (1) 次のいずれかに該当する場合は入場を制限する。なお、入場制限に関して事前にホームページなどで周知する。
 - ① 過去1週間以内から来場日までに下記(a)～(d)を含む体調不良のある方
 - (a) 体温37.5℃以上
 - (b) 強い倦怠感
 - (c) 咳、咽頭痛、息苦しさ等
 - (d) 味覚・嗅覚異常などの異変がある
 - ② PCR等検査陽性歴があり、下記(a)～(d)のいずれかの状態の方
 - (a) 有症状者で、発症日から10日未満、かつ、症状軽快後72時間以内
 - (b) 有症状者で、症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR等検査で陰性を確認できていない
 - (c) 無症状病原体保有者で、陰性確認から10日未満
 - (d) 無症状病原体保有者で、検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR等検査で陰性を確認できていない
 - ③ 濃厚接触者として自宅待機中の方
 - ④ 家族が濃厚接触者として自宅待機中の方
 - ⑤ 家族に上記①(a)～(d)のいずれかの体調不良がある方
 - ⑥ 海外から帰国（日本に入国）して14日以内の方
 - ⑦ マスク非着用の方
 - ⑧ 入場時に氏名、連絡先等記入に協力いただけない方

3 観戦について

- (1) 厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録を推奨する。
- (2) 入場時の密集、密接を避けるため、目印を設置したり、役員が誘導を行う。
- (3) 入場する際は、必ず新型コロナウイルス感染防止対策カードに日付、氏名、電話番号等を記入し、提出する。（家族同伴の場合は、カード1枚に家族分の氏名を記入できる。）
 - ① 感染防止対策カードを提出できない場合は、入場できない。
- (4) 入場の際には必ずマスクを着用する。
- (5) 入場口で検温を行い体温が37.5度以上ある場合、また、発熱・咳・咽頭痛・倦怠感等がある場合は、入場できない。
- (6) 入場口での手指消毒を励行する。
- (7) 入退場での密集、密接を避けるため、時間差での入退場や入退場口を変えるなどの工夫を行う。

- (8) 観戦時は人と人との距離（最低でも1席空け）をとって観戦する。
- (9) 観戦時および観戦前後には飛沫感染、接触感染を防止するため、次の事項を禁止する。
 - ① 大声での声援、応援、合唱（試合中、試合前後）
 - ② 鳴り物の使用（ブラスバンドを含む）
 - ③ ハイタッチや得点時に座席の上に立ったり、一カ所に集まる行為
 - ④ タオルを回す
 - ⑤ 千羽鶴などの物品の譲渡
- (10) 応援可能事例
 - ① プレーの度の拍手や通常の声援（両手をメガホン代わりに使わない）
 - ② 拍手での応援（自席で手を叩く程度で大声を発しない）
 - ③ メガホンの持ち込みは可能であるが、使用する際は声を出さず叩くのみとする

4 主催者としての対策

- (1) 大声を出さない、マスク着用、ソーシャルディスタンスを取るなど新型コロナウイルス感染防止対策を促すアナウンス、電光掲示板表示を行う。
- (2) 観戦終了後に自分の座席位置を確認できるよう入場券に自身の座席番号をメモすることやスマートフォンで座席位置を撮影することを促し、最低14日間は自身の座席番号が確認できるようアナウンスする。
- (3) 観客が感染者となった場合に備え、大会中は大会本部、大会後は長野県高等学校野球連盟事務局まで電話連絡を入れてもらうよう促す。